

コーデックス こーでっくす

正式にはコーデックス・アリメンタリウス（Codex Alimentarius）というラテン語からきた言葉で、食品規格という意味を持つ。19世紀末のオーストリア・ハンガリー帝国でも使われたことがある伝統的な言葉である。現在、世界的に通用する食品規格はこの規格だけで、通常、コーデックス規格と呼ばれる。1962年、国連の専門機関である国連食糧農業機関（FAO）と世界保健機関（WHO）が合同で、国際的な食品規格をつくることを決定した。その食品規格計画の実施機関が食品規格委員会、英語名でコーデックス・アリメンタリウス・コミッションといい、CACと略称されている。1963年に第1回の総会がローマで開かれた。作成した規格にコーデックスの名前が付くだけでなく、CACの組織にもコーデックス〇〇部会というようにコーデックスの名前が冠される。CACの主要目的は、ある食品の規格、有害物質の量の限度、衛生的に取り扱う方法等を定めるコーデックス規格を作り、世界の消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を促進することである。

<登録年月>

2005年11月
